
緊急執筆・福岡県中学二年生自殺から。

ハルメク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

緊急執筆・福岡県中学二年生自殺から。

【Nコード】

N0562B

【作者名】

ハルメク

【あらすじ】

「いじめ」ということがある時点で、人間が愚かという証明であるように思う。

福岡県の中学二年生男子が

「いじめ」

を苦に自殺した。

この事件について、県教委は

「いじめ」

があつたことを認めた。教師からの

「いじめ」

もあつたという。ここ1、2ヶ月の間に子供の

「いじめ」

による自殺が報道されることが多い。マスコミが取り上げる数が多いだけで、報道されない

「いじめ」

による自殺も多いのではないだろうか。

しかし9、10月に起きた

「いじめ」

による自殺は全国に報道され、その事件の矛盾と人間の愚かさを内包した内面を外に晒してくれた。

福岡の中学二年生少年は教員に

「いじめ」

をされていることを知られていた。しかし教員や県教委は何の手段も施そうとはしなかった。これは教員が

「いじめ」

の存在を肯定したことになる。

「いじめ」

を知らなかった、というのは罪にはならないかもしれない。だが

「いじめ」

があることを知らうとしなかった、または知っていたということは、

何の行動も起こさなかったという時点で罪である。

学校での

「いじめ」

はどう対処するべきだろうか。

私は

「真」

の教員による被害生徒との相互コミュニケーションをするべきであると思う。

「真」

とは担任教員やメンタルケアをしてくれる教員ではなく、分け隔て無く生徒に、または状況を酌量して接する教員である。特別な位置にいるのではなく、人情家としての教員である。

しかし人情家としての教員というものは教員採用試験などでは測れないものである。これからの教育の問題は

「学力低下」

に焦点を集約するのではなく

「いじめ」

を含めた

「学校教育にある諸問題」

と改め、それを解決するための

「良き恩師となる教員」

の育成に力を入れるべきである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0562b/>

緊急執筆・福岡県中学二年生自殺から。

2010年11月21日02時22分発行